

令和元年度 「子供司書」養成講座全体研修

- 日 時：令和元年7月20日（土） 10：00～16：00
- 場 所：庄原市田園文化センター
- 対象者：「子供司書」養成講座受講者13名（庄原市内小学校第5・6学年希望者）

目 的

児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

講話 「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【講話の概要】

- 「子供司書」の役割は、子供の読書活動を進めるリーダーである。読書の楽しさを周りの友達に伝え、読書を好きになってもらうことが大切である。
- 「子供司書」に認定されるためには、全体研修と地域の図書館での実地研修、学校での活動を行うことが必要である。
- 人に本を薦めるだけでなく、自分自身も幅広いジャンルの本を読み、より読書好きになってほしい。

演習 「『日本十進分類法』を学ぼう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【演習の概要】

- 多くの図書館や図書室では、所蔵している本を日本十進分類法によって分類している。分かりやすく言えば、本の番地である。
- 日本十進分類法では、0類から9類までの10のカテゴリーで分けられている。
- ラベルシールがない場合は、奥付のNDCの番号で分類することができる。

講話・演習 「読み聞かせのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐 さん



【講話・演習の概要】

- 読み聞かせをする際に、だれに対して読むのか、どんな本を読むのかという本の選書がとても重要である。
- 絵本の読み聞かせは、絵をしっかりと見せることが必要である。本を持つ際や本をめくる際に、手で絵を隠さないよう留意する必要がある。
- 聞き手の目線と本の高さや向きに留意する必要がある。聞き手が椅子に座っている場合は立って、聞き手が床に座っている場合は、椅子に座って読み聞かせをするとよい。
- 読み聞かせをする際には、何回も練習（目安は100回）をして、臨むことが必要である。

演習 『『おすすめの本のポップを作ろう』大作戦！』

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【演習の概要】

- ①タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く、②内容を少しだけ紹介する、③キャッチコピーを書く、④輝く言葉を引用する、⑤デザインやイラストを工夫する、⑥どうおもしろいかを書く、といった6つのポイントを生かしながら、自分の紹介したい本のポップを作成した。

参加した児童の感想

- ・今まで読み聞かせは難しくないと思って聞いていたけど、実際にやってみると、本の持ち方や読み方など、難しさや大変さが分かった。聞いている人に喜んでもらいたいという思いをもって、読み聞かせを行うことが必要であることが分かった。
- ・学校で、色々な本のポップを作ったたくさんの人に紹介したり、低学年に読み聞かせを行ったりしてみた。
- ・読み聞かせで学んだことを生かして、図書館まつりや学校で読み聞かせを行うことで、一人でも多くの人に読書の楽しさを知ってもらいたい。
- ・自分をもっともっと読書好きになることが大切だと思った。